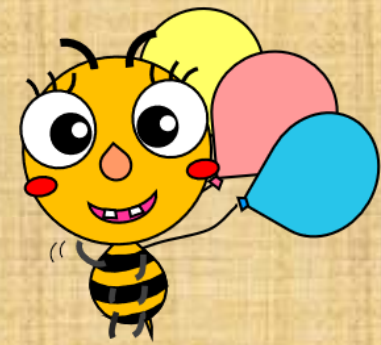


ふくら通信

～2021年秋号～



色づく木の葉に、地面に積もる落ち葉や木の実。朝夕も冷え込んできて少しずつ冬の気配も感じられつつありますね。

夏から9月末まで延長となった緊急事態宣言など、当たり前の日常を送るのに様々な制限がかかり、不安な日々を過ごされた方も多かったと思います。10月以降は今のところ感染状況も落ち着き、このまま収束となってくれることを祈るばかりですが、引き続き手洗い・消毒・食事介助時のフェイスシールドの着用などの感染対策を継続し、そしてたくさん笑って免疫力も上げながら、楽しく安全に療育して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



代表コラム

株式会社福蔵FUKURA 代表取締役 須田 祥子

ふくらでは毎月職員向けの勉強会を行っています。勉強会の中で必ず私の望む職員像や会社の理念、そして心がけを職員に話をさせていただいております。

「思い」の大切さ

企業理念にありますように「思い」や「心」を私はとても大切に考えています。「心は物や空間にのっかる」「必ず人に伝わっていく」と確信しているからです。

たとえば、私の娘たちはもう家を離れそれぞれの家庭をもっておりますが、そんな娘が幼稚園の時に弁当を作った際「たくさん食べてくれますように、美味しくできますように」と心を込めて作ったお弁当は残さず食べて帰ってきてくれる。同じお弁当でも、忙しい朝にちょっとイライラしながら作ったお弁当は残して帰ってくるという経験をし「同じことでもどんな「思い」でやるかが大事なんだ」と実感したことがあります。

ふくらの事業所は、朝と夕方に掃除や消毒をするのですが、朝玄関に入った瞬間に思わず「今日、玄関のお掃除をした人は誰？」と3度ほど聞いたことがあります。毎日見慣れたはずの、玄関の空気が違うからです。3度とも掃除当番は同じ職員でした。同じお掃除道具、同じ手順。毎日どの職員もきれいに掃除してくれているのですがその職員が掃除してくれた後には、特にハッとするほど、やさしさを空間に感じるのです。なんとも幸せな気持ちになる。本人に聞いてみるととても恥ずかしそうに「みんなを気持ちよく迎えますように、そしてここで今日も楽しくみんなが過ごせますように」と願いを込めながら掃除してくれていることを教えてくれました。全職員でそのことを共有しますと、拍手喝さいでした。「思いは伝わっていく」のですね。

忙しい日もありますがどんな時にも、職員一同、愛を込めて業務にあたっていこうと思っております。愛も本物の愛と偽物の愛があることを職員たちに話しております。本物の愛は、見返りを求めない与えきりの愛であること。相手の幸福が自分の幸福だと感じる。偽物の愛は、褒められたり見返りを求めて行うこと。見返りを求めた時に愛は死ぬと話しております。報酬をいただいて私たちの生活は成り立っておりますが、心は純粋な愛情で接していくことを私たちの使命と思って精進し続けて参ります。

